

『向島の豊かな自然と生きものたち』

第20回 昆虫採集と標本作り

2013年7月に向島洋らんセンターの駐車場に集まった虫好き子ども達とそのお母さん達は準備万全。長そでの服に長ズボン・帽子を身につけ、水筒・捕虫アミとプラケースを各自持って簡単な説明を聞いてくれた。

「ハナヤヘビに注意してください」と話した時はちょっと静かになったが、皆元気いっぱい目キラキラ輝いてましたね。

早く捕りたい！見たい！つかまえたい！の気持ちでいっぱい！

素晴らしい！！と思いました。

高見山のふもと、みかん畑に続く小道に入り、エサを探したイノシシが崩したでござう石垣を脇に見ながら、その反対側の荒地には冒険心いっぱいの元気な子ども達が入りこんでワーワーキャーキャー…昆虫採集のルールなどの話はもう忘れてしまっていたね。

大型の干ヨウがみかんの木の上から突然あらわれたり、小さな黄色い干ヨウがいたり、もっと小さなブルーの干ヨウが出てきてあわててアミを振ってハズしていたね。

カメムシを見つけたり、楽しい昆虫採集でした。

汗びっしょりになりながらも、お母さんが見つけた虫を「早く早く！アミアミー！」と子どもさんをせかして見たものの、虫はどこかに飛んでいったり隠れてしまったり、捕まえた虫を手で持てない子には、お兄ちゃんが「こうやってとるんじや」と教えていたね。

捕まえた虫の標本作りは後日となりましたが、今回はその日以外に見つけた虫も集まりました。中には、向島で初めて見つかったトンボもいました！！

花と鳥と昆虫と海辺に遊ぶ
つるかめクラブ